



心地よい初夏の風を感じられる季節になりました。はな組の子どもたちは、園での生活の仕方が少しずつ分かり、給食の支度や着替えなど、自分のことを自分ですることがうれしいと感じる姿が増えてきています。

園の先生や、クラスの友達の顔と名前も分かってきて、名前を呼んだり、先生や友達と一緒に過ごしたりすることを喜ぶようにもなってきました。

最近の学級の様子をご紹介します。

<広い園庭へ！>

園庭で遊ぶことを楽しみにしていた子どもたち。砂場や滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど、少しずつ様々な場所で遊び始めています。遊具で遊ぶときの約束を知り、守りながら楽しむ姿が見られます。



ジャングルジム
上ってみよう！

滑り台楽しいな！

順番も守れるよ！



固定遊具は、手で握る力や足で支える力など様々な体の動きが必要になります。子どもたちは、コロナ禍での生活ということもあり、体を動かす経験や体力が少ないように見受けられます。遊びの中で、ぶら下がる、動物になりきって動く、など様々な体を使い、体力や多様な動きが身に付いていくようにしたいと思います。体力や筋力の基本は、歩くことで身に付きます。毎日の登降園、休日のお出かけ等で、親子で歩く時間を大切に過ごしましょう。

<作るの、楽しい！作ったもので遊ぶの、面白い！>

自分で作ると愛着が湧き、使って遊ぶとより楽しくなります。

ちょうちょを作ろう！

いろいろな色の
シールを貼るよ！



作ったちょうちょが、
お庭の花にとまったよ！

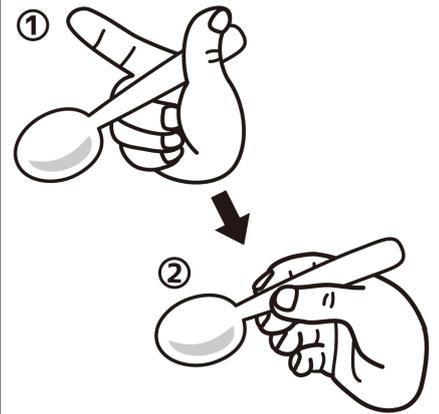


給食の姿から

給食では、先生や友達と一緒に食べながら、食べることを楽しむようになってきています。また苦手な食べ物にも少しずつ挑戦してみようとする姿も見られます。

こども園では、スプーンやフォークの三点持ち（親指と人差し指、指の間の3点で支える持ち方）を指導しています。「お兄さんお姉さんになれるよ」と励ましながら伝えると、自分で頑張っけて三点持ちで食べようとする姿が見られます。今は無理にではなく、少しでも取り組もうとする姿を認め、自分から変えてみようという気持ちをもてるように関わっています。また、食具を持つ反対の手で、器を押さえられるとよいですね。

持ち方が変わることで、箸への移行もスムーズになります。ぜひご家庭でも取り組んでみてください！始めは短い時間から挑戦していくことで、少しずつ自信がついていきます。お子さんが頑張る姿を認めながら、自分からしてみようという気持ちに繋げていただけたらと思っています。



お知らせ

〇5月30日からの過ごし方について

入園当初から、はな組は2グループに分かれて過ごしてきました。園生活にも慣れてきて、15人のグループにいると保育者とのつながりを感じやすく、生活に必要な身の回りのことが身に付いてきています。一人一人が安心して過ごしながら、少しずつ自分の気持ちを表すようになってきました。自分のしたいことを見付けて遊ぶ姿も増えてきています。

そこで、5月30日（月）より、教育時間も30人で一緒に生活をしていきたいと考えています。30人で生活していくにあたり、変更点がありますので、以下の2点にご協力をお願いいたします。

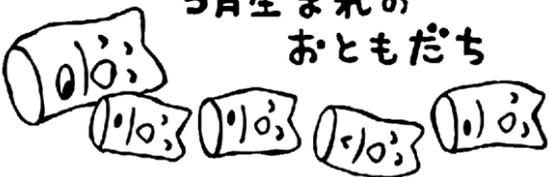
・9時を過ぎてから登園される場合

はな組は、9時から13時が教育時間となっています。9時過ぎには、学級で挨拶をしたり、活動を始めたりします。そのため、9時以降に登園した場合、4・5歳児と同じように保護者の方は保育室に入らず、はな組の入り口で受け入れをします。その際、荷物はこちらでお預かりをし、お子さんが自分でできるようにしていきます。午睡セットがある場合は、保護者の方にセットをしていただきます。お子さんを預けてから外靴用靴箱前のテラスを通り、くぬぎの庭側からホールへ出入りをお願いいたします。

・ロッカーの場所について

しろちゃんグループ（現在はな組廊下側のロッカーの方）のロッカーの場所が変わります。全員のロッカーが、テラスから入ってすぐの場所になります。（現在ここちゃんグループが使っているロッカーです。）

5月生まれの
おともだち



おたんじょうび おめでとう！